

災害時の対策

❗ 火災の時は

容器バルブを閉めて、消防署員などに容器の位置を知らせてください。



❗ 地震の時は

身の安全を確保し、揺れがおさまったら火を消し、ガス栓、器具栓を閉めてください。揺れが大きかった時は、容器バルブも閉めてください。(二次災害防止のため)



❗ 洪水の時は

容器バルブを閉め、倒れたり、流されたりしないようにロープなどで容器を固定してください。



災害に強いLPガス

近年、各地で地震などの大規模な災害が続いています。どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。LPガスは復旧の早さや避難所などですぐに対応出来ることなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。その実績からさまざまなところで、LPガスは災害に強いことが実証されています。

もしもガスが漏れたら

☒ ガスのニオイがする ☒ ガス漏れ警報器が鳴った

❗ 絶対にしないでください



- 屋内の火は全部消してください。また、マッチをすったり、タバコなども吸わないでください。
- コンセントの差込やスイッチには触れないでください。着火の原因となります。(換気扇は回さないでください。また、回っている換気扇はそのままにして手を触れないでください。)
- ガス栓、器具栓、容器バルブを閉めてください。
- 扉や窓を十分に開け、風通しを良くしてLPガスを追い出してください。
- 直ちにお客様等を安全な場所に誘導し避難させてください。
- 表紙の連絡先へ連絡し、点検を受けるまではLPガスを使用しないでください。

✓ もしものためにお願いします！

● LPガス保安連絡担当者の選任

3号メーター(3m³/h)以上のメーターが取り付けられていて、従業員が10名以上のところでは、「LPガス保安連絡担当者」を選任してください。

担当者の役割

- 弊社と連絡を取り合う窓口となります。
- LPガスの使用上の注意事項や正しい使用方法を従業員にお知らせします。
- 始業時・終業時にガスメーターやガス栓器具栓のチェックをします。

- 避難誘導担当者を決め、非常口などの避難経路を決めておく。
- お客様にガス漏れを知らせ、風上の安全な場所へ避難誘導する。

☎ ただちにご連絡を！

※休日・夜間にかかわらず緊急の場合は表紙の連絡先へ連絡し、下記の内容をお伝えください。

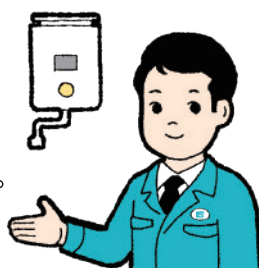
- 1 あなたのお名前(店舗等)
- 2 ガス漏れなどの状況
- 3 電話番号
- 4 ご住所
- 5 お近くの目標



こんなときは表紙の連絡先へご連絡ください

- LPガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取り外すとき。
- 新築・改築・転居などで新しくLPガスを使うとき、またはやめるとき。
- ガス以外の工事(水道工事・店舗の増改築など)を行うとき。
- ガスストーブなどの季節的器具で、取り付け・取り外しが困難なとき。
- 風呂がま及び大型湯沸器等固定式燃焼器の変更及び修理工事は、自らで行わないでください。

※LPガス配管系統の変更は弊社と十分連絡を取りながら実施してください。



集中団地供給のお客様へ
ご近所でこんな工事を見かけたら是非お知らせください！

工事がガス漏れの原因になることもあります！

- 掘りおこし、埋め戻し、その他工事の内容によって、埋設してあるガス管をいためたり、異常な重みでガス管が破損してしまう場合があります。
- ガス漏れは、周辺の多数の方々大変なご迷惑とご不便をおかけすることになります。

保存版 重要なお知らせ

LPガス安全管理マニュアル 業務用周知文書

LPガスを 業務用でご使用中 のお客様へ

職場の皆さままで回覧してください。

業務用厨房内での事故が多発しています。換気不良や機器の経年劣化等によるCO(一酸化炭素)中毒は生命に係わる重大事故を招きます。オーナー様はもとより全ての方にご熟読いただき、職場の安全確保にお役立てください。

ご存知ですか？ LPガスにはこのような 性質があります。

1 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重く、漏れると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスが漏れたら、特に下の方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

2 ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色・無臭ですが、漏れた時に分かるようにタマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。

3 燃焼には たくさんの空気が必要

LPガスが燃焼する為にはたくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。

4 クリーンなガス

LPガスは、環境負荷が化石燃料の中でも相対的に小さく、天然ガスとともにクリーンなエネルギーであると位置づけられています。(ただし、換気不足で不完全燃焼を起こすとCO(一酸化炭素)が発生する危険性があります。)

5 液体になりやすい

LPガスは圧力をかけると容易に液化するので、液化した状態でLPガス容器または、貯槽に入っています。

このパンフレットは、
液化石油ガス法に
基づきお届けする
ものです。

販売店
住 所
電話番号

FAX番号

緊急時の
連絡先

昼間

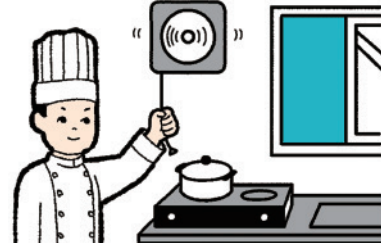
夜間

換気に充分注意してください



LPガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われないと、酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害なCO（一酸化炭素）が発生し、死亡事故に至る恐れがあります。大変危険ですので、十分な換気をしてください。

■ガス器具を使用するときは換気扇を回すか窓を開けたりして必ず換気をしてください。



■ガス栓は全開で使用し、使用後は完全に閉めてください。

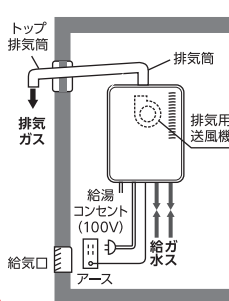
ホースは赤い線まできっちり差し込み、ホースバンドで止めてください。



※図はホースバンド使用の例



- 半密閉式燃焼器をご使用の方は、必ず排気筒（煙突）と給気口（空気取り入れ口）を設置してください。（右図参照）
- 排気筒（煙突）の中に鳥が巣を作り、換気を妨げる場合があります。そうした心配のある方は表紙の連絡先に点検を依頼してください。
- 不正改造をした場合、安全装置が作動せず、CO（一酸化炭素）による死亡事故が発生する場合があります。



小型湯沸器のご使用上の注意

●火が消えたときは、ただちに
ご使用を中止してください。

一酸化炭素が発生している可能性があります。再点火して繰り返し使用すると、一酸化炭素中毒事故にいたる恐れがあります。

●小型湯沸器は長時間使用しないでください。安全装置が作動するのは、長時間使用で酸欠状態になったときや、経年劣化による熱交換器の詰まりです。

●ときどき小型湯沸器のフィン（換気部）の目づまりをチェックしてください。
※フィンの点検などは表紙の連絡先へご相談ください。



！ガス小型湯沸器のお湯を他へ給湯することは危険です。

ガス小型湯沸器のお湯を、お風呂や洗濯機への給湯やシャワーとしてご使用になるのは、不完全燃焼を起しやすく危険です。絶対におやめください。

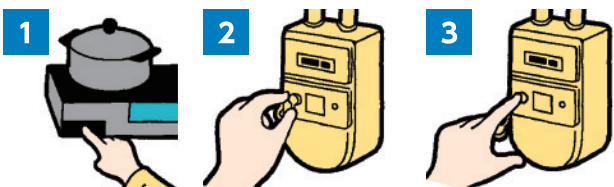


安心を支えるセーフティ機器

マイコンメーター

ガス漏れなどLPガスの流れに異常があると、ガスメーターに内蔵されたマイコンと遮断弁が働き、ガスを遮断します。マイコンメーターは大きな地震の時、（震度5相当以上）にはガスを止めるなど、保安機能がさらに充実しています。弊社ではマイコンメーターの設置を基本としております。

マイコンメーターがガスを遮断した後、
自分でできる復帰方法



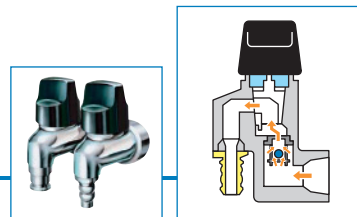
1 厨房のガス器具をすべて止める。
2 復帰ボタンのキャップがある場合は、キャップを外す。
3 復帰ボタンを押して1～2分間待つ。（押してすぐ、はなす。）

※ガス器具を止めた状態で、復帰ボタンを押した後、ガス漏れがないかどうかをマイコンメーターが1～2分間、安全確認をしています。異常がなければ、赤いランプ（または液晶のアルファベット）の点滅が消え、ガスは元通りご使用になれます。

※正常に復帰しない場合や、不明な点がある場合は表紙の連絡先へご連絡ください。

ヒューズガス栓

ゴム管が外れて、ガスの流量が多くなると自動的にガスが止まる安全なガス栓です。

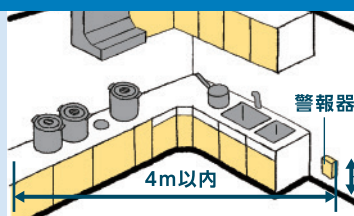


ガス漏れ警報器

ガス漏れ警報器があると万が一のガス漏れの際、警報ランプと音声でお知らせしますので安心です。
※有効期限内のものを使用してください。



警報器が適切な位置に設置されているかを確認しましょう



LPガス用のガス漏れ警報器は、左図のように床に近い場所に設置されていますか。誤った設置位置ではガス漏れを感知しませんので、警報器の設置場所を確認しましょう。

- ※警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- ※警報器のまわりにものを置かないようにしましょう。

業務用換気警報器

ガス機器の不完全燃焼等により発生した一酸化炭素（CO）が人体に危険な影響を与える前に音声によって警報します。

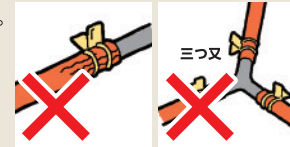


ガス漏れや一酸化炭素（CO）中毒による事故を未然に防ぐためにガス漏れ警報器・業務用換気警報器を設置しましょう。

LPガス事故をなくすために

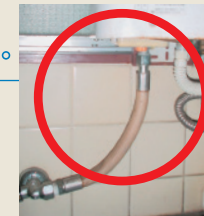
ゴム管はときどきチェックして、早めに交換しましょう。

- ひび割れの場合は使用しないでください。
- 三つ又は絶対に使わないでください。
- ゴム管のガス漏れ点検は、筆に石鹼水を含ませてゴム管に塗って泡が出るか調べてください。泡が出た場合は、ただちにゴム管を交換してください。
- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込み、ホースバンドでしっかり止めてください。



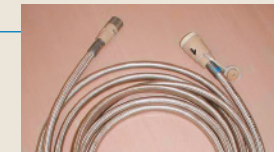
固定式燃焼機（ガス器具）はねじ接続用ホースを利用してください。

ガス漏れ防止のため、湯沸器や風呂釜などの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。
ねじ接続用ホースを利用してください。



ファンヒーターや炊飯器等はコンセント型ホースをおすすめします。

着脱が簡単で確実なコンセント型の専用ホースをおすすめします。



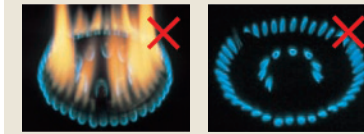
ガス器具の手入れ

- ガスコンロの目詰まりは器具ブラシ等で、ときどき掃除してください。
- ネジなどを取外す必要がある場合は、必ず表紙の連絡先へ連絡してください。



ガスの炎は青い炎でご使用ください。

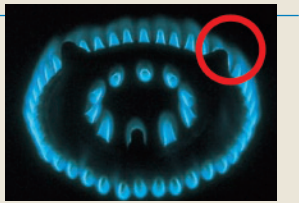
赤っぽい炎は、不完全燃焼しています。



空気不足

空気過多

完全燃焼



LPガス専用の器具をご使用ください。
都市ガスの器具は使用できません。



※LPガス専用器具の裏面又は側面に、上記のシールが貼ってありますのでご確認ください。

小型容器の取り扱い（卓上コンロ用カセットボンベは除く）

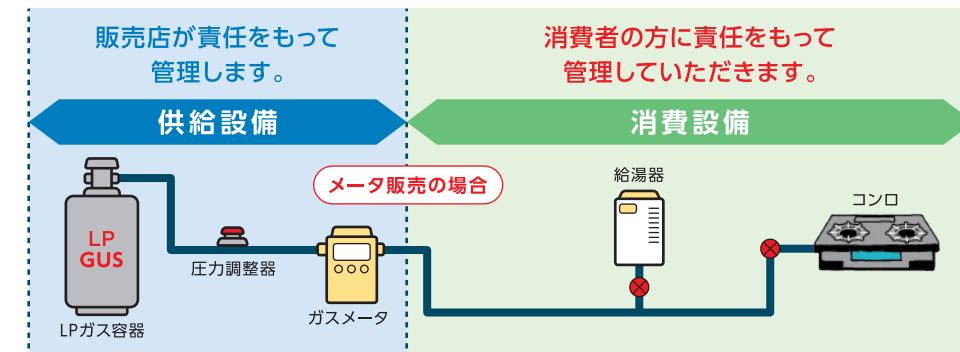
- 容器が倒れないように平らな場所に置いてください。
- 不要になった容器は必ず販売店に返却してください。
- 直射日光や火気のないところに置いてください。
- 容器は、横に寝かせて使用しないでください。
- 容器は、風通しのよい場所に保存してください。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めてください。



ガス栓・器具栓はうっかりが禁物

- 業務終了後や使わないときは、必ずガス栓や器具栓が閉まっていることを確認してください。
- マッチを使用する場合には、マッチに点火後器具栓を開いてください。

日頃の安全点検は、ご自身で行ってください



供給設備とは
容器からガスメーターまでの設備のことです。

消費設備とは
ガスメーターの出口から燃焼器（ガス器具）に至るまでの設備のことです。

私たちアイエスジー株式会社、
保安機関として認定を受け、液化石油ガス法に基づき、
次のような点検・調査を行います。

容器交換のつど	1年に1回以上	4年に1回以上
LPガス容器・調整器・容器バルブ・供給設備などの外観点検。	地下室等の配管からのガス漏れ調査など。	調整器の機能点検、配管のガス漏れ調査、ガス機器や給排気設備の調査など、LPガス設備全般についての点検・調査。

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力ください。

！ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないでください。

- ✓ 着火時には点火の確認をしてください。
- ✓ LPガスの使用中は、その場を離れないようにしてください。風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあり、大変危険です。
- ✓ ゴム管は、なるべく短くし、折り曲げたり、物かげを通したりしないでください。